

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名                             |    | 福岡療育支援センターいちばん星新宮（保育所等訪問支援）   |     | 公表日 |  | 令和7年 3月 3日   |  |
|----------------------------------|----|---|-----|-----|--|--|--|
|                                  |    | チェック項目  | はい  | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと<br>思われる点など  | 課題や改善すべき点  |  |
| 環境・<br>運営・<br>体制<br>整備           | 1  | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。  | 73% | 27% | ・ニーズがあれば準備するが、基本口頭で行っている<br>・椅子の調整などに必要なクッション等があり、その場で行いやすい<br>・特に物品は必要ないため                                  |  |  |
|                                  | 2  | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 60% | 40% | ・調整していく方針<br>・重心のみでいうと問題ないと思う  | ・頻度を増やして方が良いケースもあるが、時間や配置が足りず増やせないことがある<br>・スケジュール組みが難しいので改善が必要<br>・訪問にあまり行ったことがないため、経験のある職員と同行したい |  |
| 業務<br>改善                         | 3  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                      | 53% | 47% | ・ようやく始まった<br>・訪問の報告は必ず行い、目標設定の参考になるようにしている<br>・そのケースにかかわる職員とは話せている   |  |  |
|                                  | 4  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                | 93% | 7%  | ・今後も引き続き意識していく   |  |  |
|                                  | 5  | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 80% | 20% |  | ・明確なシステムでは行えていなかった   |  |
|                                  | 6  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 40% | 53% |  |  |  |
|                                  | 7  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                   | 87% | 13% |  |  |  |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供 | 8  | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。                | 93% | 7%  |  |  |  |
|                                  | 9  | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 87% | 13% |  |  |  |
|                                  | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。                            | 67% | 33% | ・園によるが、積極的にコミュニケーションを取るようになっている  |  |  |
|                                  | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 80% | 20% | ・担合などで話すことが多い<br>・情報共有を徹底している<br>・部署で見やすいように紙面化して保管している  | ・全員ではなく担当のみ  |  |
|                                  | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 73% | 27% | ・放課後等デイのサービスの中で行っている<br>・現地でフォーマルなアセスメントは行っておらず、行動観察が中心<br>・通所でアセスメントを行って保育所等訪問につなげており、保育所等のアセスメントは現在使用していない |  |  |
|                                  | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。              | 67% | 33% |  |  |  |
|                                  | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 93% | 7%  |  | ・全員ではなく担当のみ？   |  |
|                                  | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                     | 93% | 7%  | ・訪問前後に職員間で共有している   |  |  |

|              |    |  |      |     |                                     |  |
|--------------|----|--|------|-----|-------------------------------------|--|
|              | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                     | 80%  | 20% |                                     | ・できている時とできていない時がある                                   |
|              | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。  | 93%  | 7%  | ・気を遣っている                            | ・園の方針により、指導が難しいことも多い                                 |
|              | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。   | 93%  | 7%  | ・遅れはあるが、忘れないように声掛けし合っている            |  |
|              | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                          | 87%  | 13% | ・保護者のニーズから課題を拾い上げていることも多い           | ・訪問先のニーズが不十分、保護者づて                                   |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 93%  | 7%  | ・理解していない職員が出る場合も事前に打ち合わせしている        |  |
|              | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 80%  | 20% | ・放課後等デイのサービスの中でやっている                |  |
|              | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                     | 67%  | 33% |                                     |  |
|              | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。  | 73%  | 27% |                                     |  |
|              | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  | 87%  | 13% | ・参加できるときは参加努力している<br>・代表者が参加している    |  |
|              | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。  | 100% | 0%  |                                     |  |
|              | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 47%  | 53% |                                     | ・ペアレントトレーニングについては、もう少し勉強する必要があると感じている<br>・家族への研修は不十分 |
| 保護者等への説明等    | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 100% | 0%  |                                     |  |
|              | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。   | 100% | 0%  |                                     |  |
|              | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。           | 100% | 0%  |                                     |  |
|              | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。                                     | 100% | 0%  |                                     |  |
|              | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。  | 93%  | 7%  | ・放課後等デイのサービスの中でやっている                |  |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 73%  | 27% | ・通所のサービスの中でやっている<br>・定期的なイベントに伴って開催 | ・きょうだい児交流支援はしていない                                    |
|              | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 87%  | 13% |                                     |  |
|              | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                        | 47%  | 53% |                                     |  |
|              | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 100% | 0%  |                                     |  |
|              | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 100% | 0%  |                                     |  |

|            |    |   |      |     |  |                     |
|------------|----|---|------|-----|--|---------------------|
| 訪問先施設への説明等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。                                  | 80%  | 20% | ・あまり該当ケースがない                           |                     |
|            | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。   | 67%  | 33% | ・直後に担任と話している<br>・お互いに時間がなく、電話でのやり取りが多い |                     |
|            | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。   | 100% | 0%  |  |                     |
|            | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。   | 100% | 0%  |  |                     |
|            | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。                                      | 100% | 0%  | ・園の受け入れにもよるが、寄り添っているつもり                |                     |
| 非常時等の対応    | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 67%  | 33% |  | ・訪問に特化したものがあるかわからない |
|            | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 67%  | 33% |  | ・訪問に特化したものがあるかわからない |
|            | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 87%  | 13% |  |                     |
|            | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  | 93%  | 7%  |  | ・訪問に特化したものがあるかわからない |
|            | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。    | 100% | 0%  |  |                     |